



JAPAN SOCIETY OF BREAST HEALTH Annual Report

乳房健康研究会 アニュアルレポート 2020 ピンクリボンアドバイザーによる がん教育プロジェクト スタート

CONTENTS

はじめに

2019年活動:ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト 授業スタート

1. コミュニケーション強化と的確な情報提供
2. 関連NPO団体や企業との連携“ピンクリボンネットワーク”

乳房健康研究会のあゆみ2000～2019年

乳房健康研究会を支援するプログラム



はじめに

いま日本女性の11人に一人が乳がんにかかるといわれ、亡くなる方は増え続けています。

乳がんは予防することはできませんが、早期発見であれば90%以上が治癒します。早期発見は知識さえあれば可能です。自己検診を行い、精度の高いマンモグラフィ検診などの画像診断が受けられると、より早期発見率は高まります。

2000年春、私たちは乳がん早期発見による死亡数低下を願い、乳房健康研究会を組織しました。セミナー、出版、ピンクリボンバッジ運動、ウオーク&ラン大会など社会性の高い事業活動を行っており、2003年2月、日本の乳がん啓発団体で初めて特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、2011年4月には認定NPO法人の認証を受けるに至りました。

2013年に創設したピンクリボンアドバイザー制度も6年目となりました。ピンクリボンアドバイザーによる啓発活動が全国的に活性化しています。そして2018年度に立ち上げた、学校でのがん教育をサポートする事業「ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト」も順調にスタートを切り、高い評価を受けております。

設立20周年。2030年に向けて新たなスタート

乳房健康研究会は、2020年に設立20周年を迎えました

そこで当会では、次の10年に向けて、新しい目標を以下のように定めました。

- ①乳がんを正しく理解し、乳がんサバイバーひとりひとりにやさしい社会をつくる。
- ②日本における乳がん死亡者数の増加に歯止めをかけ、2030年までに乳がん死亡者数1万人以下を目指す。

当会の20周年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。世界が日本に注目するこの機に、世界の知見を集約し、未来の乳がん検診について、考察や提案をしていきます。

また、当会のピンクリボンアドバイザーの活動により、新しい目標の実現を目指す10年にしたいと考えています。

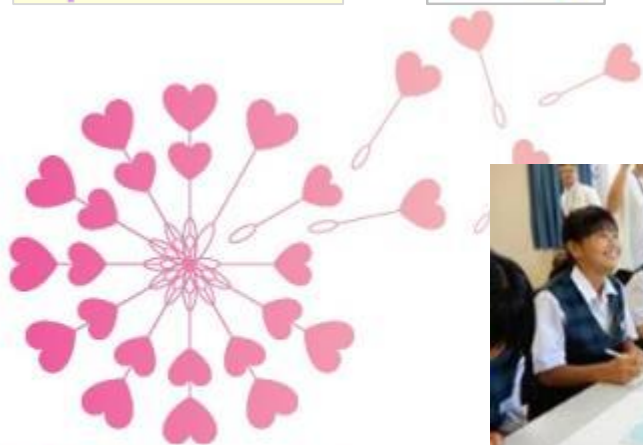
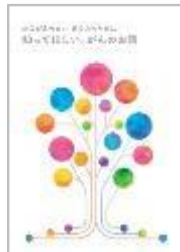
2019年活動トピックス

ピンクリボンアドバイザーによる がん教育プロジェクト 授業スタート

学校におけるがん教育が始まり、外部講師の活用が推進されている。一方、ピンクリボンアドバイザーの中で乳がん経験者は全体の4割で、自身の経験を活かして啓発活動をしたい、社会に貢献したいという気持ちを持っている。がん経験者の支援にもなり、社会に必要な取り組みとして、2018年より「ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト」をスタート、2019年には授業が展開された。

また、アニュアルミーティングや各種研修会など、ピンクリボンアドバイザーの学びと交流の場を数多く設けた。

1. ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト

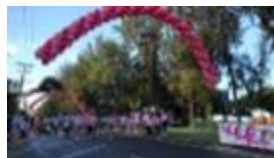


Pink Ribbon Adviser
がん教育プロジェクト

2. ピンクリボンアドバイザー アニュアルミーティング



3. ピンクリボンウオーク ハワイ研修会



4. ピンクリボン ワークショップキャラバン



5. ピンクリボンアドバイザー認定試験結果

1. ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト

ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト 授業スタート

学校におけるがん教育が始まり、外部講師の活用が推進されている。がん教育は、児童・生徒の健康意識が向上するとともに、保護者世代の検診受診率の向上にもつながる。一方、ピンクリボンアドバイザーの中で、乳がん経験者は全体の4割。彼女らは、自身の経験を活かして啓発活動をしたい、社会に貢献したいという気持ちを持っている。

2018年より「ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト」をスタート。2019年には2回のがん教育講師養成講座を行い、57名を講師に認定。授業は首都圏の中学校・高等学校6校で実施し、高い評価を受けた。2020年度からの全国展開につなげる。

東京、千葉、神奈川からスタートし、2020年度より全国展開

●助 成：花王グループ、株式会社ワコール、キャンノンメディカルシステムズ株式会社
株式会社アートネイチャー、アジレント・テクノロジー株式会社

●2019年度実施校一覧

学校名	対象	人数
千葉県立成田高等学校	3年生	83人
八王子市立檜原中学校	3年生	161人
足立区立竹の塚中学校	1～3年生	146人
香取市立栗源中学校	2・3年生	55人
南房総市立白浜中学校	1～3年生	61人
江東区立亀戸中学校	3年生	171人



がん教育（現在）を通して、ピンクリボンアドバイザーの経験（過去）が、子どもたちの命を守ること（未来）へとつながっていくことを、タンポポが綿毛を広げ風に運ばれるデザインで表現したシンボルマーク

【制作物・教材等】

●説明スライド・啓発冊子・認定証・メッセージカード



【ホームページ・動画】



制作協力：花王グループ

【がん教育講師養成講座】



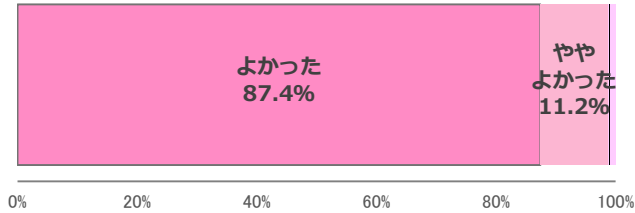
乳がん経験者であり、アナウンススクールの講師でもある山口容子氏を中心に研修プログラムを作成。文科省のガイドラインや授業展開について学び、演習では一人ひとりが山口氏、教育関係者、当会理事長からの講評・アドバイスを受ける。

ピンクリボンアドバイザーのことが子どもたちの心を動かします

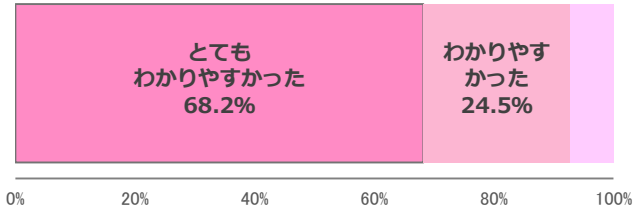
【授業評価】

●アンケート結果

授業の満足度 98%

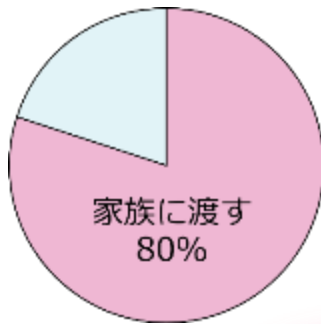


授業のわかりやすさ 93%

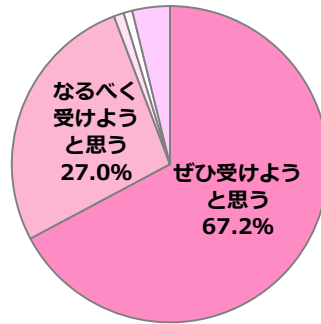


がん検診を「受たい／勧めたい」90%以上

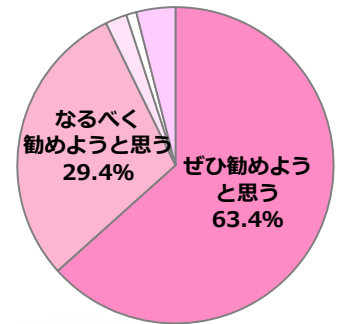
Q.メッセージカードを誰に渡す？



Q.将来、がん検診を受診しようと思うか？



Q.身近な人にがん検診を勧めようと思うか？



がんという病気は身近であるということ。そして私達にできることがたくさんあるということを学びました。



とても怖い病気であると思っていたが、早期発見することで治る確率が高くなる病気であるとわかった。

自分もいつ発症するかわからないので、定期的に健康診断などを受けようと思った。(高3)



2年前、がんで祖父を亡くしました。今日の講演のことをもっと早く知っていたら、少しでも何かできたかなと思いました。(中3)



がんは早く見つけられ、9割がなおることを知って安心した。自分もなるべくならないために生活習慣を心がける。(中1)



実際のがん患者さんの話を聞いて、苦しかったことを明るく話せる強さがすごいと思った。(高3)



わかりやすくがんについて説明され、生徒のがんに対するイメージが変化したように思う。(高校教諭)



2. ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング

ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング2019

ピンクリボンアドバイザー同士の交流と活動の活性化を図ることを目的に、1年に1回開催するアニュアルミーティング。乳がんや検診、治療に関する最新情報、各地のピンクリボンアドバイザーのさまざまな活動事例が学べる。
3回目となる2019年は、4月6日に実施した。

アニュアルミーティングの受講や活動発表により、ピンクリボンアドバイザー【初級】【中級】更新審査/【上級】認定に必要な単位が取得できる。
ピンクリボンアドバイザー【上級】は、認定期間内(5年間)に1回以上、活動発表をすることが【上級】更新の要件となる。

- 日 時 2019年4月6日(土) 10:00-17:00 (受付9:30)
- 会 場 聖路加国際大学大村進・美枝子記念臨床学術センター日野原ホール
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目6
- 主 催 認定NPO法人乳房健康研究会
- 協 賛 株式会社アートネイチャー、株式会社マエダモールド
- 対 象 ピンクリボンアドバイザー(初級、中級、上級) 一般の方
- 参加人数 【活動発表】【教育セミナー】121名 【懇親会】30名



【プログラム】

- 開会挨拶/土井 卓子
- 【教育セミナー】
「日本の乳癌検診の現状と展望」 中島 康雄/NPO法人日本乳癌検診学会理事長
「診療ガイドラインの読み方・使い方」 阿部 恭子/認定NPO法人 乳房健康研究会理事
※内容を編集し「ピンクリボンと乳がんWebセミナー」のコンテンツに追加
- 【活動発表】ピンクリボンアドバイザーの活動を全国の仲間とシェア
※発表者の中から優秀者にはピンクリボンアドバイザーアワードとして活動助成金を進呈
- ピンクリボンアドバイザーアワード2019表彰
- 【懇親会】 築地テラスにて立食パーティ 希望者のみ自由参加



3. ピンクリボンウオークハワイ研修会

Race for the Cure® Hawaii 2018 参加ツアー

ハワイで一歩ふみ出すことが、あなたのステップアップに。

米国ハワイ州ホノルルで開催されるKomen Hawaii Race for the Cure®に参加することを目的とした3日間のプログラムを実施した。

乳がん啓発活動やそのための募金活動を積極的に行なっている米国NPO団体のSusan G. Komen Hawaii®が主催するこのイベントは、サバイバーの方々だけでなくその家族や支援者、そしてイベントをサポートするボランティアたちが、ハワイはもとより全米各地から集まり、共に楽しい時間を過ごす。

16名が今回のプログラムに参加し、同じ目的に向かう多くの方々と交流し、密度の濃い時間を過ごした。



●主催：認定NPO法人乳房健康研究会

●目的：

1. ウォーク&ランに参加しながらハワイを楽しむ
2. 米国における乳がん啓発活動の実際を体験、学習する
3. 米国における乳がん啓発活動ボランティアとの交流をはかる
4. コーメン財団との交流をする
5. 日米の‘ピンクリボンウォーク’交換研修の場とする
6. ピンクリボンアドバイザーの研修及び単位取得の機会とする



●日時：2019年10月12日(土)～2019年10月14日(月)

●場所：ハワイ、ホノルル・カピオラニ公園
パリー・モミ・メディカルセンター

●主なプログラム：

ハワイのスーザン・G・コーメン財団が行うランとウォーク&ラン(コーメンフォーザキューア)に参加
ハワイのボランティアとの交流
ハワイ大学見学(オプション)

●参加対象：

ウォークあるいはランに参加できる方
2泊3日の研修旅行ができる健康状態の方
ピンクリボンアドバイザーの認定を受けている人
またはピンクリボン運動に理解ある人

●参加者数：16名

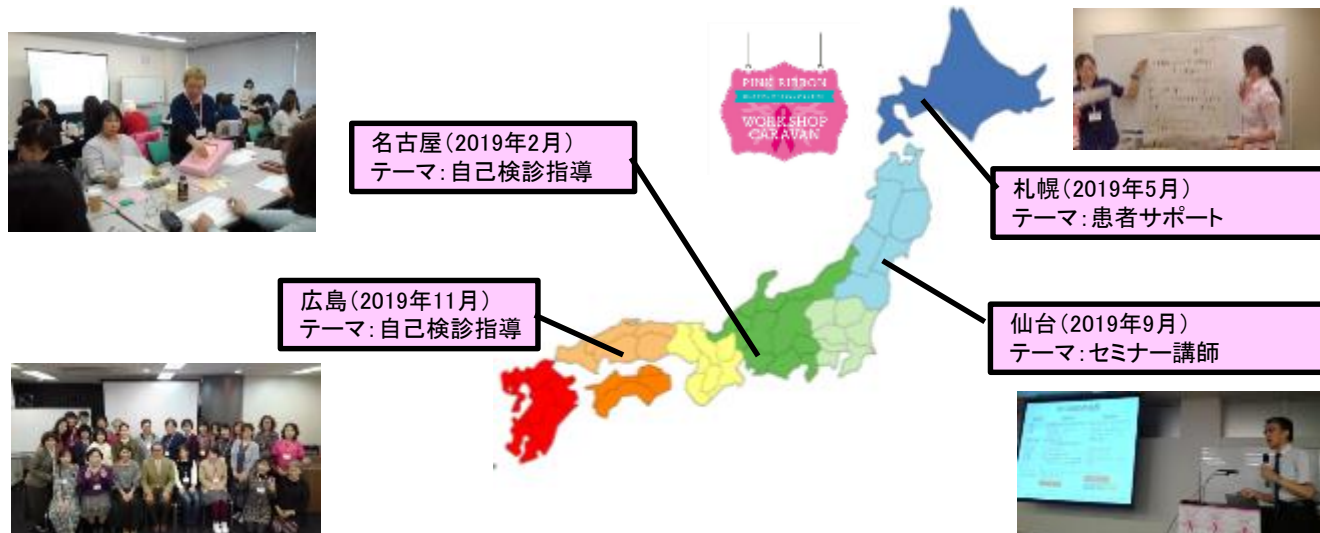
レース種目は5kmラン、5kmウォーク、1マイルウォーク(約1.6km)のいずれかをお選びいただけます。



4. ピンクリボンワークショップキャラバン開催

ピンクリボンワークショップキャラバン

15周年記念事業として、2015年にスタートしたピンクリボンワークショップキャラバン。各地のピンクリボンアドバイザーが活動に必要な情報やスキルを身につけることを目的とする。セミナーの部とワークショップの部の二部構成で、中級試験開催地で順次実施。自己検診、ピンクリボンマップ作成、セミナー講師、患者サポートなどのメニューから、各地域の要望を考慮して内容を決定する。2019年は、名古屋(2月)、札幌(5月)、仙台(9月)、広島(11月)で開催した。



医療機器工場見学 & 活動実践研修会

乳がん検診で用いる医療機器マンモグラフィや超音波装置を製造するキャノンメディカルシステムズ工場見学と、温泉に宿泊してピンクリボン活動の実際を学び合う1泊2日の研修会。2014年に始まり、6回目を迎える。今回はピンクリボンアドバイザー13名、認定試験受験予定者1名、講師・スタッフ4名の合計17名が参加した。

工場では、マンモグラフィ装置の仕組みを学び、医療機器の製造ラインを見学。ワークショップでは、がん教育の授業実践演習。那須塩原市内の中学生の協力を得て模擬授業を参観し、その後各自が授業内容をまとめ、授業を想定してプレゼンテーションを行った。

- 日程: 2019年6月15日(金)～16日(土) <1泊2日>
- 協力: キャノンメディカルシステムズ株式会社、那須塩原市立黒磯中学校、塩原小中学校の生徒さん
- 宿泊: かんすい苑覚楽(ピンクリボン温泉ネットワーク)



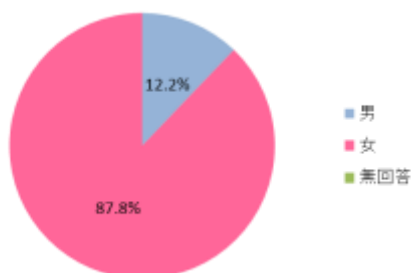
5. ピンクリボンアドバイザー認定試験結果

第8回認定試験により、ピンクリボンアドバイザーは延べ15,000人超に

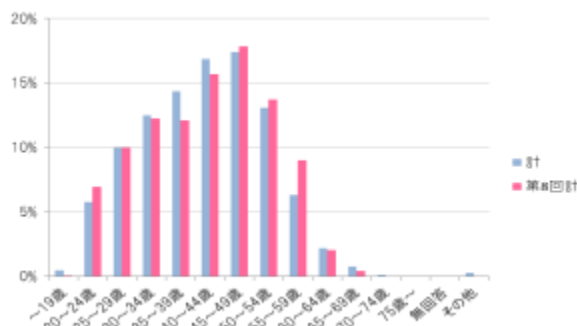
2019年12月に第8回試験を実施。【初級】は、申し込み1,745名、合格者1,465名、【中級】は申し込み481名合格者385名。
2019年1月現在のピンクリボンアドバイザーは延べ【初級】13,263名、【中級】2,252名、【合計】15,515名となった。

【第8回 初級合格者データ】

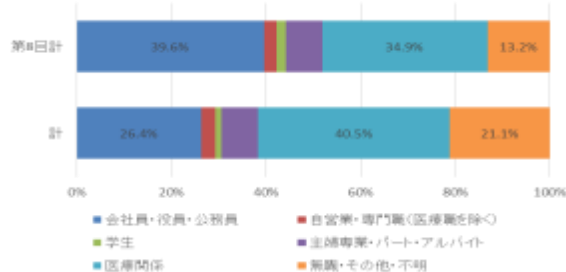
■男女比: 女性が約9割を占める



■年齢: 平均41.4歳

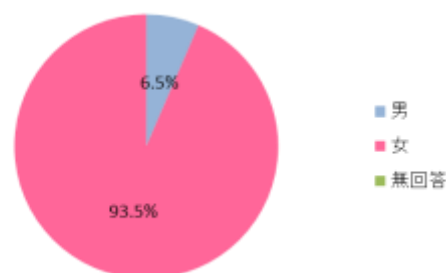


■職業: 医療関係者が最も多い。昨年に続き会社員等の割合が増えた

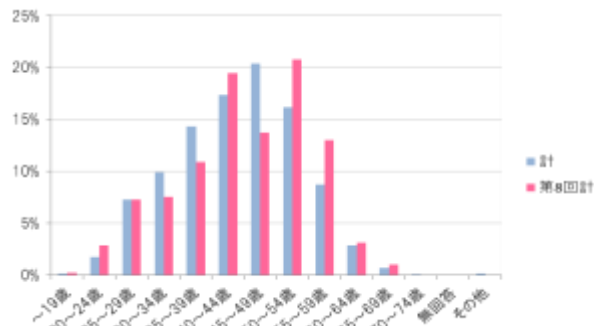


【第8回 中級合格者データ】

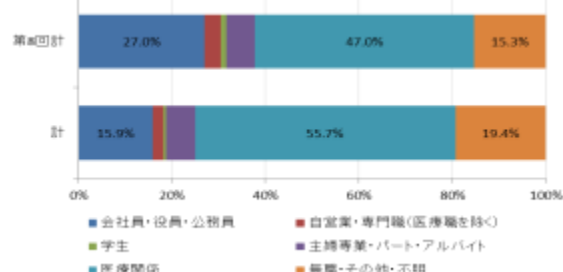
■男女比: 初級と同様に女性が約9割近くを占める



■年齢: 平均年齢44.6歳、初級より高め



■職業: 医療関係者が最も多い



第3回ピンクリボンアドバイザー上級認定研修会

3回目となる上級認定研修会を実施。今回の研修会ではピンクリボンアドバイザー【上級】が、グループワークのファシリテーター・運営アシスタントとして参加した。受講者の自己紹介スライド(1人20秒程度)を上映し好評だった。今回新たに27名が認定され、【上級】認定者は合計109名となった。

- 開催日時: 2019年9月28日(土)、9月29日(日)
- 開催場所: がん研究会有明病院
- 受講人数: 27名



乳がんによさしい社会をめざして、情報を発信

日本で初めてブレストケアウォーク&ランを開催した乳房健康研究会。医療者と一般女性のコミュニケーション強化を図ることにより、正しい情報を伝達することを目的として、多岐にわたるイベントを開催・協力している。ホームページでは、乳がんの的確な情報を提供。さまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。各種啓発ツールも多方面で活用されている。



第18回ミニウォーク&ラン フォー ブレストケア ピンクリボンウォーク2019

■日時：2019年4月7日（日） 9:00～14:00

■場所：豊洲公園

乳がんについて考えるきっかけになってほしい…そんな思いからスタートした「ピンクリボンウォーク」。
今年も、運営に関わる様々な場面でピンクリボンアドバイザーが多数参加した。

今回はピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクトがスタートしたことに加え、
「ピンクリボンハイスクール開校」という仕立てで、ウォークの他に近隣の学校等に協力いただき、ステージイベントを盛り上げた。好天に恵まれ、気持ちのよい1日となった。



ウォーク後のメインイベントは「ピンクリボンハイスクール・スペシャルトークショー」。2018年に乳がん治療中であることを公表した元SKEの矢方美紀さんを招き、自身の経験も交えながら乳がんの自己検診の大切さ、気づいたときのフォロー、ケアについて語った。～学校で乳がんのことを教えて欲しかった～そんな思いを汲み今、若い世代に「乳がん」について知ることの大切さを伝えた。



地元のシーガルダンススタジオのキッズダンス、中央区立日本橋中学校ダブルタッチ部の生徒さんの協力によりステージを盛り上げた。ピンクリボン運動に賛同している芝浦工業大学附属中学高等学校吹奏楽部、芝浦工業大学アカペラサークルNewToneの2バンドが軽快な演奏で皆さんを迎えるなど、様々な工夫を凝らして大会を盛り上げた。



信頼される乳がん情報、充実した啓発ツール

乳がんの的確情報の提供とともに、さまざまな活動を紹介しているホームページ。一層の活動参加を促す目的で9月に大幅なリニューアルを行った。
ピンクリボンアドバイザーの更新やイベント参加費の支払い、寄付などがクレジット決済できるようになった。



【さまざまな啓発ツール】

乳がんの啓発ツールやチャリティグッズ(書籍、パンフレット、シャワーカード、DVD、切手、ピンクリボンバッジなど)を作成し、ホームページで販売しており、各方面で活用されている。
最近では、さまざまな企業がオリジナルのピンクリボン啓発ツール制作をおこなっている。
雑誌、新聞、テレビ、インターネットなどのさまざまな媒体からの情報提供の依頼や取材が増えており、乳房健康研究会の情報が信頼されていることがうかがえる。

■啓発リーフレット



■書籍



■シャワーカード



学会・研究会へ出展し、ツールを紹介

乳がん早期発見の大切さを伝えることにより、それぞれの専門家に乳がん啓発活動の一端を担ってもらうため、学会・研究会や各地の市民公開講座等へ出展。
講師の派遣、乳がん啓発ブースの設置、啓発ツール紹介、チャリティグッズの販売をおこなう。

出展	会期	会場
日本乳癌学会	7月11日～13日	新宿NSビル
日本乳癌検診学会	11月8日～9日	福井商工会議所



ピンクリボンの裾野を広げる

正しい乳がん情報を広く普及するために乳がん啓発活動に関わるNPOや各種団体、企業との連携事業を展開。

各地のピンクリボン活動をサポート

全国各地のピンクリボンイベントに協力し、イベント共催、講師の派遣、ブース出展、啓発パネル貸し出しなどを精力的に行う。

	イベント名(主催者)
3月	YAMANASHIピンクリボンフェスタ2019 (株式会社テレビ山梨)
4月	つくばピンクリボンフェスティバル2019 (特定非営利活動法人 つくばピンクリボンの会)
5月	常滑(マエダモール)見学とご当地グルメと散策 (なごやめしの会) 健康チェック (医療法人清風園 今井病院)
6月	YONAGOピンクリボンフェスタ2019 (YONAGOピンクリボンフェスタ実行委員会) 桐生市「第19回けんこうまつり」におけるピンクリボン運動 (桐生厚生総合病院)
8月	茨城県がん検診推進強化月間バザール展+放射線展+ピンクリボン運動 (公益社団法人 茨城県診療放射線技師会)
9月	未来の自分にできること (L-CUB訪問看護 八山田) 宝「T」カフェ ピンクリボン体験ブース設置 (ピンクリボン~プレストサポート tome) ピンクリボン 愛フェス 2019 in 一宮西病院 (チアフルママ) がん対策アクション&ピンクリボン in すみだ2019 (墨田区)
10月	KAKESウーマンデー ピンクリボンゲーム (近畿健康管理センター 滋賀事業部) 女性特有のがん講座~乳がん、子宮がんの早期発見と予防のために~ (ウイメンズヘルスlab) 2019年ヒルトン名古屋 乳がん早期発見啓発活動 Breast Cancer Awareness (ヒルトン名古屋 料理飲料部) 乳がん検診 (医療法人清風園 今井病院 検査科) 茨城県がん検診パネル展+放射線展+ピンクリボン運動 (公益社団法人 茨城県診療放射線技師会)
11月	リンパ浮腫講演会 IN とっとり (あけぼの会 鳥取県支部)



企業とのタイアップ

協賛や直接的な寄付に加えて、広報・販売促進活動の中で社会貢献活動を行う「コース・リレイティッド・マーケティング」による支援も増加している。乳房健康研究会は主としてコンテンツを提供。

企業の告知力・コミュニケーション力により、正しい乳がん情報が広く普及していく。

企業	内容
アスクル	オリジナル紙コップの売り上げの一部を寄付
イーグルリテーリング	エアリーブランドの売り上げの一部を寄付
川辺	ママバッグの売り上げの一部を寄付
花王グループ	海外での店頭活動
カネボウ化粧品	カネボウスキングロスウオーターの売り上げの一部を寄付
きむら食品	杵つきもちの売り上げの一部を寄付
ジェントス	ペンライトの売り上げの一部を寄付
ストライプインターナショナル	ギフトショップMaison de FLEURの対象商品の売り上げの一部を寄付
佐藤食品工業	饅頭、切り餅の売り上げの一部を寄付
シグマスタッフ	派遣社員へ乳がん啓発。登録人数に応じて寄付
ジャパンビバレッジ	自動販売機の売り上げの一部を寄付
スリーエムヘルスケア	聴診器等の売上の一部を寄付
東京コカ・コーラボトリング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
日本ホールマーク	母の日カードの売り上げの一部を寄付
鳴海製陶	フェリシタシリーズの売り上げの一部を寄付
ナショナルペンディング	自動販売機の売り上げの一部を寄付
ヌーヴ・エイ	店頭での募金による寄付
三越伊勢丹	ピンクリボンバザール運動による寄付
ミュージゼプラチナム	薬用スムーススキンコントロール ミルクローション モイストプラスの売り上げの一部を寄付
ユナイテッドアローズ	対象商品やオリジナルピンクリボングッズの売り上げ一部、リサイクルキャンペーンによる売却費を寄付
リベルタ	社内のピンクリボンセミナーにピンクリボンアドバイザー活用
ワコール	フィッティングキャンペーン、ピンクリボン検定による寄付

ほか多数



乳房健康研究会のあゆみ

2000年

- 5月 乳房健康研究会発足
- 9月 第1回セミナー「もっと乳がんを知ろう」開催(東京・ブラザエフ)

■乳房健康研究会設立メンバー

2000年春、日本女性の乳がんによる死亡数低下を願い、4人の医師が集まり発足した。



野末悦子
コスモス女性クリニック
院長



轟 富士雄
順天堂大学医学部
附属順天堂医院
乳腺センター長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
ブレスト&イメージング
センター院長



島田葉穂子
ピンクリボンブレスト
ケアクリニック表参道
院長

2001年

- 3月 『20歳を過ぎたらブレストケア』出版 プレスセミナー開催(東京)
- 7月 乳癌最新情報カンファランス会場にてピンクリボンバッジ運動スタート
- 9月 第2回セミナー「乳がん早期発見のための取り組み～女性医療と乳がん～」開催(東京・ブラザエフ)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンバッジ運動

アメリカで乳がん啓発のシンボルマークとして広く知られているピンクリボン。このバッジを多くの方々につけていただくことで、乳がんの早期発見をよびかけている。



■出版、啓発ツール制作

『20歳を過ぎたらブレストケア』を出版以降、マンモグラフィの特徴や撮影方法などをわかりやすくまとめた「マンモグラフィQ&A」、乳がんの基礎知識をまとめた「乳がんQ&A」などの啓発ツールを制作し、さまざまなルートで活用していただいている。



2002年

- 3月 第1回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア開催(東京・国営昭和記念公園)
- 9月 第1回ウオーク フォー ブレストケア開催(東京・お台場)
- 9月 「マンモグラフィQ&A」制作
- 12月 東京ミレナリオ沿道にて「ピンクリボンブラザ」開設
- 10月～翌年1月 乳がん検診のバリア調査(一般女性)
- 11月 乳がん検診のバリア調査(全国自治体)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ウオーク&ランの開催

一般女性、乳がん経験者、男性も子どもも参加できるウオークやラン。アメリカで広くおこなわれているこのような乳がんイベントを日本で初めて開催した。サブイベントとしてマンモグラフィ検診や乳房健康相談、ブレストケアトークなどをおこない、楽しい中にも乳がんの正しい知識を持ていただけるような内容で、医療従事者と一般女性のコミュニケーションを深めている。



2003年

- 2月 内閣府より特定非営利活動法人(NPO法人)認証
- 3月 第2回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催(東京・国営昭和記念公園)
- 4月 第3回セミナー「なぜ検診に行かないの？乳がん検診のバリアをなくそう」開催(東京・ヤマハホール)
- 5月 ウォークフォー ブレストケア 2003 大阪 開催(大阪・大阪城公園)
- 8月 「乳がんQ&A」制作
- 9月 ピンクリボンウォーク2003開催(東京・代々木公園)
- 10月 朝日新聞社主催「ピンクリボンフェスティバル」(東京・六本木ヒルズ)への支援
- 11月 第13回日本乳癌検診学会(群馬)にて乳がんのバリア調査報告ならびにピンクリボン運動出展
- 11月 米国の乳がん啓発団体「スーザン・G・コーメン・ブレストキャンサー・ファンデーション」とタイアップしてプレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診のバリア調査

乳がんの基礎的な資料整備のため、企業、行政、団体のご協力をいただきながら、乳がんに関する調査の設計、実施、データの公表をおこなっている。2002～3年には、乳がん検診受診率がなぜ低いのかを探る「乳がん検診のバリア調査」を実施。全国3,247自治体と一般女性(東京、愛媛)への調査をおこない、自治体の乳がん検診の考え方や実態や女性たちの検診意識を明確化した。この調査はたびたびメディアでも取り上げられている。



2004年

- 2月 『すべての女性にプレストケア』出版
- 3月 第3回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 8月 三重県乳がんプロジェクトの一環の県民公開講座を支援
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 10月 関西国際空港10周年記念ピンクリボンウオーク関空2004 開催(大阪・関西国際空港)
- 10月 「チャートでチェック! 乳がん検診 私はどこに行ったらいいの?」「プレストケアと乳がん検診についてお話ししましょう」作成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■信頼できる乳がん検診情報の提供
活動開始から5年目、NPO法人化2年目の2004年はさらに戦略的な活動を本格化。「信頼できる乳がん検診情報の提供」をテーマに、乳がん検診受診率アップのためのさまざまな活動を展開した。制作物では「すべての女性にプレストケア」を出版ほか、検診施設の選び方のチェックチャートを作成しホームページでも紹介。



ピンクリボンウオーク関空で
日本初!ピンクリボン人文字



乳がん検診が初めての人への
ナビゲーションとなる1冊

2005年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(三重、久留米)
- 3月 第4回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京都・国営昭和記念公園)
- 6~7月「乳がん検診は今」調査実施(一般女性、都道府県、自治体、健保組合対象)
- 8月、9月 三重県乳がんプロジェクトの一環の市民公開講座(四日市)を共催
- 9月 プレスセミナーを開催、「乳がん検診は今」調査結果発表(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 11月 市民公開講座(京都)にて「乳がん検診は今」調査結果発表
- 12月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「乳がん検診は今」調査
2002~3年の「乳がん検診のバリア調査」の時点から、わが国の乳がん検診をとりまく状況は大きく様変わりした。今日の状況と課題を把握する目的で「乳がん検診は今」プロジェクトを立ち上げ、日本の乳がん検診を網羅する4つの調査を実施した。



2006年

- 3月 第5回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・潮風公園)
- 4月 ITEM(医学放射線学会・放射線技術学会)市民公開講座(横浜)支援
- 5・6月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(北海道・宮城・東京・愛知・大阪・福岡)
- 9月・11月・翌年1月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(東京)
- 10月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「ランチセミナー」(センチュリーハイアット東京)
- 10月 順天堂乳腺センター市民公開講座 支援
- 11月 ピンクリボンハッピーチャレンジ「文化放送ミスDJリクエストパレード」
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診をもっと身近なものに
2005年調査を受けて、乳がん検診をもっと身近に感じてもらうための活動に新たに取り組んだ。



ノバルティス乳がん検診
キャラバン

ピンクリボン
ハッピーチャレンジ



乳がん検診受診率向上
実践セミナー

2007年

- 2月 日本乳癌画像研究会(東京)に出展
- 3月 順天堂乳腺センター市民公開講座(東京) 支援
- 6~11月ノバルティス乳がん検診キャラバン(熊本・愛媛・岡山・北海道・山形・茨城・東京)
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 11月 乳がん検診受診率向上実践セミナー開催(大阪)
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん検診受診率50%に向けて<一般女性意識行動調査>

2007年は、同年6月にがん対策基本計画に「乳がん検診受診率50%」との目標が盛り込まれたことを受け、NPO法人として実現に向けての活動の方向を探るための3度目の調査を実施し



2008年

- 1月 マンモグラフィ講習会を開催(鹿児島)
- 3月 第7回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~11月 ノバルティス乳がん検診キャラバン
(長崎、広島、高知、山梨、岩手、北海道、千葉)
- 5月 hideメモリアルサミット
- 9~11月 Over the ピンクリボン企画
- 10月 ピンクリボンプラザ@表参道ヒルズ、ピンクリボンプラザ@四日市
- 10月 「Breast Cancer Global Congress」に参加
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンプラザ」開催

検診受診率アップの為に、女性の日常生活に密着した場所での啓発が大切と考え、東京・表参道ヒルズ、三重・四日市北イオンショッピングセンターで「ピンクリボンプラザ」を開催。乳がんに関する正しい知識や、一人一人に合った情報を紹介し、乳がん検診・診療への行動を促した。また、乳がん検診や診療について気軽に相談でき、生涯にわたり健康のサポート役となる乳房の主治医「ピンクリボンドクター」を見つけるヒントを提供した。



2009年

- 3月 第8回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4~10月 ノバルティス乳がん検診キャラバン
(福岡、山口、奈良、三重、神奈川、香川、大阪、青森、秋田)
- 10月 ピンクリボンプラザ@新宿を開催
- 10月 マンモグラフィ講習会を開催(東京)
- 11月 日本乳癌検診学会(東京)で調査結果発表
- 11月 プレスセミナーを開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■「ピンクリボンプラザ@新宿」開催

検診に行きたいと思っている女性の疑問や不安を解消し、すぐに具体的に役立つ情報の提供を行うことを目的に、乳がん検診について知りたい内容をコンパクトに整理して提供した。

セミナーでは、乳がん検診の基礎についての講演と自己検診の方法とマンモグラフィの撮影方法のデモンストレーションに続き、中井美穂さんをゲストに迎えてパネルディスカッションを行った。

セミナーの様子は、新宿駅前の「アルタビジョン」でも放映された。



2010年

- 3月 第9回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 5月 ノバルティス乳がん検診キャラバン(大手町、新宿)
- 5月 マンモグラフィ講習会を開催(福岡)
- 5月 日本超音波検査学会(大阪)に出展
- 6月 日本乳癌学会(札幌)に出展
- 9月 PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010 開催
- 9月 マンモグラフィ講習会を開催(熊本)
- 11月 日本乳癌検診学会(福岡)に出展
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■PINK RIBBON GLOBAL CONFERENCE 2010

設立10周年を記念して、東京で日本初のピンクリボンカンファレンス開催した。米国、韓国をはじめ国内外から最先端の講師を招き、全国から集まった32のピンクリボン団体、延べ500人近い参加者とともに活発な議論が交わされた。



2011年

- 4月 すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン (東京・墨田区)スタート
- 5月 認定NPO法人の認可を受ける
- 9月 日本乳癌学会(仙台)出展
- 9月 プレスセミナーを開催、「一般女性意識行動調査」結果発表(東京)
- 10月 ピンクリボンウオーク in すみだ(東京・錦糸公園)
- 10月 日本乳癌検診学会(岡山)出展
- 11月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸(宮城)開催
- 11月 鹿児島撮影技師更新講習会、鹿児島読影更新講習会を開催
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン

ピンクリボン運動を継続・高めるための新しいスタートとなる2011年は、乳がん検診の受診率を上げるとい課題に向かって、行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する体制づくりに取り組む。



2012年

- 1月～ すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン (東京・墨田区、前年より継続)
- 3月 第11回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 6月 日本乳癌学会(熊本)出展
- 9月 ピンクリボン運動自治体担当者会議
- 9月 ピンクリボンウオーク in すみだ(東京・錦糸公園)
- 11月 日本乳癌検診学会(沖縄)出展、すみだの事例を発表
- 11月 ピンクリボンカフェ in 郡山
- 6～7月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト in 南三陸 乳がん検診助成
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■すみだピンクリボン コミュニティキャンペーン
行政、医療機関、各種団体、地域企業、地域メディアとともに協働する取り組み[ピンクリボン エリアキャンペーン]を2012年も継続展開。乳がん検診受診率向上の成功モデルを完成させるとともに、墨田区のメニューと成功事例を全国に広める活動にも取り組んだ。



2013年

- 3月 第12回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 6月 日本乳癌学会(浜松)
- 8月 日本看護管理学会(東京)
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会(横浜)
- 9月 プレスセミナーを開催
- 11月 ピンクリボンブラザ in 岩手 ～東北の女性の元氣とキレイを応援～
- 11月 日本乳癌検診学会(東京)
- 11月 医療の質安全学会(東京)
- 12月 第1回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボンアドバイザー制度スタート
検診を広げ、乳がんにやさしい社会を目指す「人」をたくさんつくることを目的に、2013年、「ピンクリボンアドバイザー制度」を創設。人と人のつながりを大切にしながら乳がん検診を推進する「友だちアクション」により乳がん検診啓発の輪を広げていく活動をスタートさせた。



2014年

- 3月 第13回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 7月 第2回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 7月 日本乳癌学会(大阪)
- 8月 マンモグラフィ工場見学 那須・鬼怒川研修会
- 9月 日本看護学会—看護教育—学術集会(新潟)
- 9月 日本糖尿病教育・看護学会(長良川国際会議場、他)
- 10月 日本看護学会 在宅看護(山形テレサ)
- 10月 日本看護学会 精神看護(キッセイ文化ホール)
- 10月 日本看護学会 急性期(パシフィコ横浜)
- 11月 日本乳癌検診学会(ベシア文化ホール)
- 12月 第3回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■ピンクリボン友だちアクション
2013年12月の第1回認定試験を受けて、2014年2月に初のピンクリボンアドバイザー2,069名が誕生し、各地で活動をスタート。また、楽しく歌って踊りながら「自己検診」を啓発する、新しい参加型のツール『ピンクリボン体操 第1』を開発。人と人のつながりを大切にしながら乳がん検診を推進する「友だちアクション」により、乳がん検診啓発の輪が広がっている。



2015年

- 2月 ピンクリボンアドバイザー専用サイトをリニューアル
- 4月 第14回ミニウオーク&ラン フォー プレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 6月 第2回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会
- 6月 一般女性意識行動調査
- 7月 日本乳癌学会(東京国際フォーラム)
- 9月 PINK RIBBON CONFERENCE 2015
- 10月 ピンクリボンセミナー in Mie
- 10月 日本乳癌検診学会(つくば国際会議場)
- 11月 第1回ワークショップキャラバン(大阪/自己検診)
- 12月 第4回ピンクリボンアドバイザー認定試験
- 全国各地でピンクリボンバッジ運動を出展

■乳がん罹患者10万人時代に向けて
毎年、新たに10万人に乳がんが見つかる時代を迎え、私たち一人ひとりは何をすべきか。乳房健康研究会設立15年目となる2015年は、「PINK RIBBON CONFERENCE 2015」を開催。多面的な視点から2020年に向けてやるべきことを考えた。ピンクリボンアドバイザーは、地域のピンクリボン活動のリーダーとして精力的に活躍している。



2016年

- 2月 ワークショップキャラバン(福岡／自己検診)
- 3月 第15回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 4月 ピンクリボンと乳がんWebセミナー開講
- 5月 ワークショップキャラバン(東京／ピンクリボンマップ作成)
- 6月 第3回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会
- 6月 日本乳癌学会(東京)出展
- 9月 ピンクリボンアドバイザー【上級】認定研修会
- 9月 ワークショップキャラバン(札幌／自己検診)
- 9月 ピンクリボンでつなぐ絆プロジェクト2016 ピンクリボンプラザ in 仙台
- 10月 ワコール新ビル見学&ピンクリボン京都スタンプラリー
- 11月 日本乳癌検診学会(久留米)に出展
- 12月 第5回ピンクリボンアドバイザー認定試験

■ピンクリボンアドバイザー【上級】誕生

乳がん検診や乳がんを取り巻く環境改善のために、教育、指導、社会活動を主導するピンクリボンアドバイザー【上級】の初の認定審査を実施し、47名が認定された。

2016年はピンクリボンアドバイザーの学びの場となるWebセミナーを開講するほか、各地でワークショップキャラバンを開催。



2017年

- 2月 ワークショップキャラバン(広島／患者サポート)
- 3月 第16回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 開催(東京・日比谷公園)
- 5月 ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング2017
- 6月 第4回マンモグラフィ工場見学&活動実践研修会
- 7月 日本乳癌学会(福岡)出展
- 9月 ピンクリボンアドバイザー【上級】認定研修会
- 9月 ワークショップキャラバン(仙台／患者サポート)
- 9月 ピンクリボンプラザ in 大阪
- 10月 第2回ワコール新ビル見学&ピンクリボン京都スタンプラリー
- 10月 ピンクリボンウオークハワイ研修会
- 11月 ワークショップキャラバン(愛知／企画書作成)
- 11月 日本乳癌検診学会(徳島)に出展
- 12月 第6回ピンクリボンアドバイザー認定試験

■アニュアルミーティング開催

ピンクリボンアドバイザー同士の交流と活動の活性化を図ることを目的に、1年に1回行うアニュアルミーティングを、2017年に初開催した。また、2017年は、米国ハワイ州ホノルルで開催される Komen Hawaii Race for the Cure®に参加することを目的とした、3泊5日間のハワイ・オアフ島ツアーを開催した。



2018年

- 2月 ワークショップキャラバン(大阪／ピンクリボンマップ)
- 4月 ピンクリボンアドバイザーアニュアルミーティング2018
- 5月 日本乳癌学会(京都)出展
- 5月 ピンクリボンワークショップキャラバン(東京／セミナー講師)
- 6月 第5回医療機器工場見学&活動実践研修会
- 7月 第17回ミニウオーク&ラン フォー ブレストケア 代替イベント
(東京・昭和女子大学)
- 9月 ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト プレスセミナー
- 9月 第3回ワコール新京都ビル見学
- 10月 ピンクリボンウオークハワイ研修会
- 11月 ワークショップキャラバン(福岡／セミナー講師)
- 11月 日本乳癌検診学会(大阪)に出展
- 12月 第7回ピンクリボンアドバイザー認定試験

■がん教育プロジェクト スタート

学校におけるがん教育が始まり、外部講師の活用が推進されている。がん経験者の支援にもなり、社会に必要な取り組みとして、2018年より「ピンクリボンアドバイザーによるがん教育プロジェクト」を立ち上げた。



認定NPO法人乳房健康研究会 理事一覧

■理事長



福田 護
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター院長

■副理事長



野末 悦子
久地診療所医師



島田 菜穂子
ピンクリボンプレストケアクリニック表参道
院長

■理事



阿部 恭子
東京医療保健大学
千葉看護学部
臨床看護学領域
教授



遠藤 登喜子
東名古屋病院
乳腺科診療医長



大多和 まや
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター



大野 真司
がん研究会有明病院
乳腺センター長

■理事



岡山 慶子
朝日エルグループ会長



栗橋 登志
しんゆりリボンズハウス
副会長



小泉 美都枝
聖マリアンナ医科大学
プレスト&イメージング
センター
診療放射線技師



小林 茂樹
藤田保健衛生大学
医療科学部 教授

■理事



嶋森 好子
岩手医科大学
看護学部長



鈴木 久美
大阪医科大学
看護学部教授



津川 浩一郎
聖マリアンナ医科大学
外科学
乳腺・内分泌外科教授



土井 卓子
湘南記念病院乳がん
センター
乳がんセンター長

■理事



中村 清吾
昭和大学医学部
乳腺外科部門
主任教授



西川 徹
昭和大学横浜市
北部病院 外科講師



畠山 雅行
労働衛生コンサルタン
トオフィス畠山



山内 英子
聖路加国際病院
副院長
プレストセンター長
乳腺外科部長

■理事



高木 富美子
認定NPO法人
乳房健康研究会
事務局長

■監事

中原 敬和

乳房健康研究会を支援するプログラム

乳がん検診を受ける、早期発見の大切さを伝える。ピンクリボン運動に企業・団体や個人が気軽に参加していただくために、受診率向上を目的としたさまざまな活動へのサポートプログラムを提案。
主なプログラム5種類について、特徴や具体的な支援方法をまとめた。

ピンクリボン サポート プログラム

■ピンクリボンプレストケア募金

当会の年間を通じた活動全般を支援

○支援方法: 寄付金や募金箱・チャリティーオークションなどでの募金を寄付。

■ピンクリボンバッジによる寄付 <ピンクリボンバッジ運動>

ピンクリボンバッジによる早期発見啓発活動とピンクリボン運動への寄付を一体化

○支援方法: 500円以上の寄付につき、1つのピンクリボンバッジセットを贈呈。

■協賛

調査、イベントなど大規模な主催事業に対する協賛

○支援方法: 協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局にお問合せください。

事務局が企画内容と協賛メニューを提案。



■ピンクリボンパートナー

当会とともにピンクリボン運動による社会貢献を始めたい企業・団体が気軽に利用できる、1年更新のプログラム。

ピンクリボンパートナーとして登録いただくと、ピンクリボンマークやロゴマーク、啓発ツールなどをご提供。

【寄付額】 年間20万円以上の寄付、または35万円以上のピンクリボンバッジによる寄付

○支援方法: 協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、ピンクリボンパートナー申込書を提出ください。

■タイアップ

企業・団体がピンクリボン運動による社会貢献を実現するためのタイアップ企画。企画段階からのオリジナルプログラム

開発や企業・団体の提案企画の実施など。

【タイアップ例】

- ①啓発キャンペーン 女性顧客啓発のためのオリジナルツールの作成、当会啓発ツールの活用
- ②商品販売キャンペーン ピンクリボン運動への協力を表示した商品の販売、売上金の一部を寄付
- ③応募キャンペーン 懸賞応募はがきなどの枚数に応じた寄付
- ④ポイント提供 顧客にポイントを加算、顧客がポイントを利用して当会に寄付
- ⑤イベント開催 チャリティイベント開催による寄付
- ⑥クリックキャンペーン HP上に乳がん啓発ページを作成し、クリック数に応じて寄付

○支援方法: 協力企業・団体へのお願い事項を確認のうえ、事務局までお問合せください。

2019年 主な協賛・寄付・啓発ツール活用法人および団体(50音順)

一般財団法人全日本労働福祉協会	株式会社メディカル・コンシェルジュ
一般社団法人日本エステティック協会	株式会社ユナイテッドアローズ
一般社団法人日本家族計画協会	株式会社リネアストリア
FWD富士生命保険株式会社	株式会社リベルタ
JR北海道ホテルズ株式会社	株式会社ルックホールディングス
SHO-BI株式会社	株式会社レオパレス21
TAD三芳株式会社	株式会社ワコール
UUUM株式会社	株式会社ワットマン
アジレント・テクノロジー株式会社	株式会社一蔵
アスクル株式会社	株式会社三越伊勢丹
エイツーヘルスケア株式会社	株式会社社会保険出版社
キャンメディカルシステムズ株式会社	株式会社新潟伊勢丹
キリンビバレッジジャパン株式会社	株式会社神奈川こすもす
ココロラボトラースジャパン株式会社	株式会社静岡伊勢丹
コニカミルタ株式会社	株式会社仙台三越
サノフィ株式会社	株式会社大京
シグマスタッフ株式会社	株式会社中北製作所
スリーエムジャパン株式会社	株式会社東京ウァンティアン
ナチュラル株式会社	株式会社桃谷順天館
まつもとクリニック	株式会社日本ホールマーク
マルコ株式会社	株式会社良品計画
リコーリース株式会社	刈谷市保健センター
医療法人健仁会益子病院	江崎グリオ株式会社
横浜北幸クリニック	国保日高総合病院
音更町保健センター	佐藤食品工業株式会社
花王グループ	一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会
株式会社大丸松坂屋百貨店	市立函館病院
株式会社アートネイチャー	住友重機械工業株式会社
株式会社アコーディア・コルフ	順天堂大学医学部
株式会社アテランス	新宿区
株式会社イーグルリテイリング	川辺株式会社
株式会社うさぎもち	大鵬薬品工業株式会社
株式会社カネボウ化粧品	中外製薬
株式会社クロイスターズ	的野ウイメンズクリニック
株式会社グローウイング	東京海上日動フアシリティーズ株式会社
株式会社コヤマドライブイングスクール	特別養護老人ホーム第二みどりの郷
株式会社ジャパンコミュニケーションズインスティテュート	日鉄ビジネスサービス八幡株式会社
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	日本マジフィックス株式会社
株式会社スーパープランニング	日本郵船株式会社
株式会社スズケン	富国生命保険相互会社
株式会社スリムビューティーハウス	富士フィルム株式会社
株式会社タイワ	墨田区
株式会社ティーケーエス	鳴海製陶株式会社
株式会社ヌーブ・エイ	有限会社スタイルバイク
株式会社マエダモールド	有限会社花花
株式会社ミューゼプラチナム	

他、多数